

## 平成23事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	小項目	No.	H23年度計画	実績	法人 評価点	事務局 評価点	法人評 価平均	事務局 評価平均
II	新たな大学構想の確立と実現に向けた取り組み					9	9	4.50	4.50
	No.1	1)		看護学部設置に向けた準備業務を重点項目として取り組む。具体的には、平成23年5月に看護学部設置認可申請、7月に看護師・保健師学校指定認可申請を文部科学省に行い、平成23年度内に当該認可を得るとともに、平成23年度中に校舎の増築・改修工事を完了する。	短期間に設置認可を受けるとともに、工事を完了した。	5	5		
		2)		大学憲章の内容を周知するとともに、中期目標期間後半において、大学憲章の精神に沿った事業を実施していく。	実施した。	4	4		
IV	自主的、自律的な組織・運営体制の確立					171	170	4.07	4.05
	1. 業務運営の改善及び効率化								
	(1) 運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営								
	No.129	1)		役員を構成メンバーとした理事連絡会議や法人改革を推進するための法人改革検討委員会を開催し、理事長の意思決定を補佐する。	実施した。	4	4		
		2)		役員会（または理事会）の設置について、具体的に検討を進める。	年度内で認可を受け、平成24年度から理事会を設置する。	5	5		
	No.130			全学運営組織の機能強化・効率化のため、必要な見直しを行い、運営する。	実施した。	4	4		
	No.131			アドミッションセンターは、学生募集、AP公表、入試分析、高大連携事業を実施する。	平成22年度入試に続き、平成24年度入試で出題ミスがあった。	5	4		
	No.132			キャリアセンターは、新たなキャリア教育の構築、アドバイザー配置、卒後フォローアップ等を行う。	高い就職率を維持した	5	5		
	No.133			FDセンターは、調査研究、啓発活動、FD研修会、授業評価支援を行う。	実施した。	4	4		
	No.134			地域連携推進センターは、総合相談窓口の設置・機能強化、公開講座、自治体等協力活動、広報強化、地域調査・産学官連携検討、地域貢献活動支援、連携事業支援、地域政策研究検討を行う。	災害ボランティアを派遣し計画以上の成果を得た。	5	5		
	No.135			メディアセンターは、図書館運営の改善、情報システム機器の更新を行う。	実施した。	4	4		
	No.136			保健管理センターは、研修会参加・実施、学生の健康状態分析、カウンセラー等連携、健康診断・健康管理体制整備、衛生委員会連携を行う。	実施した。	4	4		
	No.137	1)		中期計画及び年度計画を踏まえて、公平で効果的な配分となるよう予算編成を行う。	実施した。	4	4		
		2)		予算の管理・執行が効率的に行えるよう見直しを行い、機能的な執行体制を推進する。	実施した。	4	4		
	No.138			看護学部設置を控え、新しい大学の学部等体制に相応しい効率的な学内運営組織等を構築する。	実施した。	4	4		
	No.139			テレビ会議システムを積極的に活用し、事務の効率化に努める。	実施した。	4	4		
	No.140			財務会計システムの更新等リース満了を迎える各種システムの更新作業や改修等を着実に進める。	実施した。	4	4		
	No.141			各キャンパスの業務量を的確に把握し、変化に応じた組織及び人員配置の変更を検討し、必要に応じて法人プロパー職員を計画的に採用し、適正な人員配置を行う。	実施した。	4	4		
	(2) 人事の適正化による優秀な人材の活用								
	No.143			必要に応じて就業規則の変更を行いながら、自律的効率的な運用を行う。	実施した。	4	4		
	No.145			中長期的な教職員の定数管理計画を検討する。	実施した。	4	4		
	No.148			サバティカル研修実施細則に則り制度の運用を図る。	実施した。	4	4		
	No.149			教員個人評価実施要領に則り制度を実施する。	実施した。	4	4		
	No.150			教員個人評価結果を処遇に反映する制度の運用を図る。	実施した。	4	4		
	No.151			事務局職員の採用計画について、県と協議しながら策定し、任期を定めない事務局職員を採用する。	採用1名、内定2名	4	4		
	No.152			採用計画に基づき、機動的な人員配置が行えるよう任期付事務局職員を計画的に採用する。	採用2名	4	4		
	No.153			一般的な研修を実施するとともに、中央研修を効果的に活用して、専門的な能力の開発に努める。	実施した。	4	4		
	2. 財務内容の改善による経営基盤の強化								
	コスト意識の涵養、内部チェック体制等								
	No.154			会計等研修を実施し、職員のコスト意識を高める。	実施した。	4	4		
	No.155			内部監査人監査、会計監査人監査及び監事監査を実施し、大学運営の健全性、透明性を確保する。	実施した。	4	4		
	(1) 自己財源の充実								
	No.108	1)		各キャンパスで科研費等外部資金獲得研修会を開催する。	実施した。	4	4		
		2)		科研費以外の外部資金取扱いを明確にし、支援体制も整え、新規獲得を推進する。	実施した。	4	4		
		3)		学内競争的資金配分と外部獲得資金との連携をより重視した制度運用を行う。	実施した。	4	4		
	No.156	1)		文部科学省GP等への申請に積極的に取り組む。	実施した。	4	4		
		2)		文部科学省GP継続分3件について、全学的な支援のもと事業を推進し、その成果を広く公表する。	松江Cの事業において大きな成果があった。	5	5		
	No.157	1)		共同研究・受託研究に関する規程整備に着手する。	実施した。	4	4		
		2)		受託研究等について、合意に至った部分から受託し事業を実施する。	実施した。	4	4		
		3)		県立大：受託研究の実施のための受入体制を検討する。	共同・受託研究に関する規程案を作成した。	4	4		
	No.158			看護学部設置を控え、適切な学生納付金額を設定する。	実施した。	4	4		
	No.159	1)		大学施設利用をHP等でPRしながら、使用料の確保を図る。	実施した。	4	4		
		2)		出雲C：地元コミュニティセンターを中心に大学施設の利用拡大について検討する。	実施した。	4	4		
	No.160			新たな寄附金制度を積極的に広報し、幅広く寄附を募る。	新たな寄附金制度の検討までにとどまった。	3	3		
	No.161			資金状況を把握し、効率的な金融資産の運用を行う。	実施した。	4	4		
	No.162			知的財産の管理に関する取扱いに基づき、適切に運用する。	実施した。	4	4		
	No.163			法人経営状況を分析の上、自己収入の充実を図り、自己財源比率を高める。	平成22年度比-0.6%	4	4		
	(2) 経費の抑制								
	No.164			3キャンパスにおいて、契約の合理化・集約化等経費節減策について引き続き進める。	実施した。	4	4		
	No.165			「実行計画」に基づき、引き続きエコキャンパス活動を推進する。PDCAサイクルを有効に機能させ取り組みの改善を図る。	コピー使用量等が目標数値に達しなかった。	3	3		

5 法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目

5 法人評価点を変更した項目

3 法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目

3 平成22年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目

平成23事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	小項目	No.	H23年度計画	実績	法人評価点	事務局評価点	法人評価平均	事務局評価平均
V. 評価制度の構築及び情報公開の推進						56	56	4.00	4.00
1. 評価制度の構築									
総合的な評価制度の構築									
	No.166	1)	県立大学自己点検・評価及び中期計画中間評価を実施し、中期目標期間に係る業務実績の評価プロセスを確立する。		実施した。	4	4		
		2)	次期中期目標期間に向けた準備を行う。		実施した。	4	4		
(1) 組織を対象とした評価制度									
	No.167		評価委員会の業務実績に関する評価を法人及び大学運営等の改善に活用する。		実施した。	4	4		
	No.168		学生・住民との意見交換を推進し、可能な部分から対応する。		実施した。	4	4		
	No.169		県立大：就業力育成支援事業を通じて卒業生へ直接ヒアリングを実施する。		実施した。	4	4		
	No.170	1)	自己点検・評価及び認証評価機関による評価を実施し、魅力ある大学づくりに活用する。		実施した。	4	4		
		2)	県立大学：県立大学自己点検・評価委員会を中心に、着実に自己点検・評価を実施する。		実施した。	4	4		
	No.171	1)	自己点検・評価及び認証評価機関による評価を実施し、魅力ある大学づくりに活用する。		実施した。	4	4		
		2)	県立大：平成24年度の認証評価受審に向け準備に着手する。		実施した。	4	4		
		3)	短大部：(財)大学基準協会の認証評価の受審に取り組む。		実施した。	4	4		
	No.168		学生・住民との意見交換を推進し、出された意見に対して可能な部分から対応する。		実施した。	4	4		
	No.169		浜田C：就業力育成支援事業を通じ、卒業生へ直接ヒアリングを実施する。		実施した。	4	4		
(2) 個人を対象とした評価制度									
	No.149		教員個人評価実施要領に則り、制度を実施する。		実施した。	4	4		
2. 情報公開の推進									
	No.172		短大部の自己点検・評価報告書の公開を実施する。		実施した。	4	4		
VI. その他業務運営に関する重要事項						87	85	4.14	4.05
1. 広報広聴活動の積極的な展開等									
	No.174		新たに導入したCMSを用い、HP掲載情報の更新を頻繁に行うことによる情報の鮮度アップを図るとともに、紙媒体と併せて、学生・入学希望者・県民・企業・団体に対して情報を効果的に発信する。		HP改善によりアクセス数が目標を上回った。	5	5		
	No.12		平成24年度入試に向け、海外の交流協定校を中心に、大学院案内や募集要項を送付する。		実施した。	4	4		
	No.175	1)	県立大：卒業生の意見を反映させながら、各支部の組織強化、活動の活性化に努める。		実施した。	4	4		
		2)	県立大：NEARセンターと連携を図り、帰国留学生とのネットワーク化を実施する。		実施した。	4	4		
		3)	県立大：大学を支援する組織との意見交換など地域との連携を強化する。		実施した。	4	4		
		4)	短大部：同窓会組織を通じた在学生への進路・就職活動について協議し、協力を求める。		実施した。	4	4		
	No.176		出雲C：近隣住民及び卒業生・修了生モニターと、年2回以上意見交換を行う。		実施した。	4	4		
2. 施設設備の維持、整備等の適切な実施									
	No.177		施設設備の点検・更新を定期的に行い、財産保全対策を実施する。		実施した。	4	4		
	No.178	1)	看護学部設置に向け、設置基準を満たすために必要な校舎等の増築・改修工事を行う。		実施した。	5	5		
		2)	県立大：本部棟エアコン設備機器の更新事業を実施する。		実施した。	4	4		
		3)	松江C：3号館南棟耐震補強事業ほか2件の施設・設備改修を実施する。		実施した。	4	4		
3. 安全管理対策の推進									
	No.179	1)	安全衛生管理体制を整備し、適切に運用する。		実施した。	4	4		
		2)	県立大：平成24年4月から学内全面禁煙を実施するため、学内外へ周知を図り、健康被害防止に係る啓発、禁煙支援等を行う。		実施した。	4	4		
		3)	出雲C：「ワーク・ライフ・バランス～健康で働きやすい職場づくり～」として、教職員が楽しみながら参加できるプログラムの企画・実施など、教職員の健康対策に取り組む。		実施したが、計画を上回るような顕著な成果は認められなかった。	5	4		
	No.180	1)	さまざまな場面を想定した危機管理マニュアルに基づき、危機管理体制を整備する。		実施した。	4	4		
		2)	学生寮火災訓練を計画的に実施する。		実施した。	4	4		
		3)	各キャンパスにおいて、防災訓練を計画的に実施する。		実施した。	4	4		
	No.181	1)	情報セキュリティポリシーに定められた情報の格付けに基づき、運用を実施する。		本格運用には至らなかった。	4	3		
		2)	情報セキュリティポリシーについて、基礎講習・定期講習等を行い、セキュリティ意識を高める。		実施した。	4	4		
4. 人権の尊重									
	No.182		3キャンパスにキャンパスハラスメント防止委員会・相談連絡窓口を設置し、相談に当たる。		実施した。	4	4		
	No.183		教職員や学生を対象とした人権に関する研修会等を実施する。		実施した。	4	4		
総 計						323	320	4.09	4.05

- 5 法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目
- 5 → 4 法人評価点を変更した項目
- 4 法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目
- 4.05 平成22年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目